

8-1-7 白書委員会

1. 主な活動の記録

(1) 白書委員会等の開催

対外活動・白書合同委員会開催回数 : 4回

白書委員会WG開催回数 : 5回

(2) 活動の目的

建設コンサルタントを広く国民一般に認識・理解してもらうことを目的に、「令和2年度建設コンサルタント白書」を作成する。

内容は、建設コンサルタントおよび協会の概要、建設コンサルタントを取り巻く状況、求められる役割とその多様性、および課題と今後の方向性とし、最終章に建設コンサルタント協会の活動を報告する。

2. 白書の作成方針

白書作成の基本方針は、以下のとおりとする。

(1) 白書本編に加え、要約版を作成する。

(2) 「担い手の確保」、「技術力による選定」、「品質の確保・向上」、「自然災害への対応」等の重要キーワードで文脈を通し、対外活動委員会の「要望と提案」との整合をとる。

(3) 重要キーワードおよび関係法令については、可能な限り最新かつ定量的なデータを示す。

(4) 発行時期は2020年8月末とする。

3. 白書の目次構成と本編、要約版の取り扱い

(1) 重要キーワード、関係法令、および「要望と提案」との照合がとりやすい目次構成とする。

(2) 要約版の目次構成は本編と同一とするが、内容は可能な限り要点のみを示すこととし、図表についても絞り込みを行う。

(3) 経費節減のため、印刷は要約版のみとし、本編は協会HPに掲載する。

(4) 支部トピックスや建コンフォト大賞作品については、本編、要約版ともに掲載する。

第1章	建設コンサルタントの概要
1-1	建設コンサルタントの概要
1-2	建設コンサルタンツ協会の概要
1-3	健全な企業経営に向けて
1-4	建設コンサルタンツ協会の経営方針
第2章	建設コンサルタントを取り巻く状況
2-1	建設コンサルタントを取り巻く状況
2-2	公共事業関係費の推移
2-3	関係法令の改定
2-4	建設生産・管理システムの変化
2-5	環境配慮の推進
第3章	建設コンサルタントの役割とその多様化
3-1	建設コンサルタントの役割
3-2	役割の多様化
第4章	建設コンサルタントの課題と今後の方向性
4-1	担い手の育成・確保
4-2	技術力による選定
4-3	品質の確保・向上
4-4	生産性の向上
4-5	災害対応への環境整備
4-6	適正な地位の確立
4-7	地域コンサルタントの活動領域の拡大
4-8	海外事業の現状・課題を踏まえた競争力の強化
第5章	建設コンサルタンツ協会の活動
5-1	建設コンサルタンツ協会の主な活動
5-2	災害支援活動
5-3	技術者教育とその継続
5-4	業界の将来を担う若手技術者の主体的活動

4. 執筆・編集体制

執筆担当委員は、項別に担当委員会から推薦を受けた。編集担当委員は、項別に白書WG委員から任命した。

5. 作成部数等

令和元年度「白書」の配付部数は、協会内部に約900部、発注者に約2,700部、RCCM更新講習会に約4,000部の合計約7,600部である。なお、協会ホームページにも「白書」の全文を公開した。

6. 次年度の活動について

令和3年度「白書」本編および要約版を作成する。さらに事務局および関係委員会と協働して、最新のデータを共同利用できるよう、協会サーバー上に「共通データベース」を構築することに取り組む。

(白書委員会委員長 吉津 洋一)